

議案第 105 号

平成 29 年度における主要な教育課題について

上記の議案を提出する。

平成 28 年 12 月 22 日

提出者 墨田区教育委員会教育長 加藤 裕之

(提案内容)

別紙のとおり決定する。

(提案理由)

平成 28 年度の実績を踏まえ、平成 29 年度における各幼稚園・小中学校の教育方針、教育課程の編成及び具体的な教育活動に反映させるため、特に重点的に取り組むべき課題を決定する必要がある。

平成29年度における主要な教育課題(案)

墨田区教育委員会では、「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた子供を育成するために、以下を主要な教育課題と捉え、各学校(園)の取組を推進する。 昨年度からの変更

1 確かな学力の定着と向上

(1) 授業改善の推進・授業力の向上

- 墨田区学習状況調査の結果等を踏まえ、**授業改善を行い、全ての子供が基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるようにする。**特に、**社会や理科においては、見学・体験や観察・実験を通して得た学びを一般的な知識・理解へと結び付けていくことが課題である。**
- 子供一人一人の知的好奇心を刺激し、単元の目標を踏まえた本時のめあてを明確にした授業を展開し、一単位時間内のまとめを確実にを行うとともに、学習内容の定着のために、「わかる」「できる」まで繰り返し指導の徹底を図ることで次時への意欲へつなげていくことが課題である。**
- 放課後、長期休業中の補習や「すみだチャレンジ教室」を充実させ、教育課程外の学習時間の増加、家庭学習の習慣化を図るとともに、学習意欲を高める研究を外部教育機関と連携して行うことが課題である。**
- 習熟度別指導ガイドラインに基づき、子供の習熟の程度に応じた指導を充実するとともに、理解度に応じた発展的学習を行うことにより更に力を伸ばすことが課題である。**
- 教室に配備されたICT機器を効果的に活用し、子供の視聴覚に訴えた「わかる」授業を展開するとともに、子供の情報活用能力及びメディアリテラシーを育成する。**また、校務支援システムを十分に活用し、学習情報の区内での共有化を図ることが課題である。

(2) 幼保小中一貫教育の推進

- 子供の実態に応じた一貫性・連続性のある教育を推進し、**幼稚園から中学校卒業まで**を見通した指導や交流・連携を行う。特に、**英語を中心として各教科等の連携における具体的な目標を設定し、取組を推進することが課題である。**
- 意欲をもち、学習に取り組む習慣と基本的な生活習慣を子供に身に付けさせるために、家庭との連携を図りながら、地域の教育課題を踏まえて各ブロックの目標を設定し、**その実現を目指すことが課題である。**
- 就学前教育と義務教育の接続を重視し、小・中学校と公立幼稚園・**こども園**・保育所との交流・連携を**推進していくことが必要である。**

(3) 英語力向上を図る取組の推進

- 東京オリンピック・パラリンピックに向け、諸外国から墨田区を訪れる方へ「おもてなし」できる子供の育成を目指して英語活動及び英語教育の一層の充実を図り、**英語によるコミュニケーション能力**を身に付けさせる必要がある。

(4) 国際理解教育の推進

- 中学生の海外派遣を実施し、現地の生徒との交流やホームステイ等を通して国際社会で活躍することのできる生徒を育成するとともに、帰国後の報告会で成果を広めることが課題である。**
- オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善など、その果たす役割を理解し、我が国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通して国際理解を深めることが課題である。**

2 豊かな心と体力の向上に向けた取組の推進

(1) 人権教育・道徳教育の推進

- 学校の全教育活動を通して行う人権教育を充実させ、子供の自尊感情や自己肯定感を高める取組を推進する。また、土曜授業等を活用して保護者や地域と連携し、やさしさや思いやりの心を育む教育活動の充実を図ることが課題である。
- 道徳の教科化を踏まえ、読み物教材等を活用して「考え、議論する」活動を重視するとともに家庭や地域と連携した道徳教育の一層の充実を図る必要がある。
- 同和問題、路上生活者、外国人、障害者、**高齢者**などの人権課題の正しい理解と認識を深める指導を行うとともに、互いの人権を尊重する意識・意欲・態度を育成し、あらゆる偏見と差別の解消を図る指導を徹底することが課題である。

(2) いじめ・不登校への対策強化

- 「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。特に、教育心理検査(アイ・チェック)を活用して子供の学習・生活状況や学校適応の状況等を把握し、配慮を要

する子供の情報を組織的な対応に生かすことが必要である。

- ・ いじめ防止授業で子供のいじめ撲滅の意識を高めるとともに、いじめ防止授業地域公開講座を実施し、家庭・地域の啓発を図ることで、いじめ防止の取組を推進することが課題である。
- ・ 不登校及び不登校傾向の子供への支援や配慮等について、校内はもとより幼保小中で情報を共有し組織的に対応するとともに、SCやSSW、適応指導教室等を積極的に活用し、未然防止・早期学校復帰を図ることが課題である。

(3) 体力向上を図る取組の推進

- ・ 体力調査結果の分析を踏まえた「体力向上プラン」を策定し、「一校(園)一取組」運動を充実させる。また、「体力アップキャンペーン」を有効に活用し、区全体での体力向上の意識を高めるとともに、各学校(園)の実態に応じた、継続的な取組の充実を図ることが課題である。
- ・ 子供が意欲的に目標を立て、授業・行事等における運動量を確保し、体力向上を図ることが課題である。

(4) 食育の推進

- ・ 食育リーダーや食育推進チームを中心に食に関する指導を体系付け、食育の授業を積極的に行うとともに、家庭や地域と連携を図りながら発達段階に応じた食に関する指導を推進することが課題である。

(5) 個別の課題に応じた適切な指導の推進

- ・ 特別支援学校や専門家等の支援を積極的に活用して教員の対応力を高め、通常の学級や特別支援教室で、発達障害(LD、ADHD等)のある子供への適切な指導を行うとともに、特別支援教育についての保護者・地域の理解を一層深める。また、「障害者差別解消法」に基づき、合理的配慮に努めることが必要である。
- ・ 副次的に学籍を置く子供との直接及び間接的な交流を実施することで、相互に助け合う気持ちや思いやり等、豊かな心の育成を図ることが課題である。
- ・ 外国につながる子供の子供の文化的背景を踏まえるとともに、日本語の習得が十分でない子供には、「日本語通級指導教室」や「すみだ国際学習センター(中学校)」と連携し、日本語指導等の充実を図る必要がある。

3 地域と連携した取組の推進

(1) 地域の人材を活用した教育の推進

- ・ 地域の特色を生かし、地域人材や施設等を活用した授業や学校行事等を充実することで、子供の地域を愛する心情を育成し、開かれた学校づくりを推進していくことが課題である。
- ・ 個性や適性を自覚し、主体的に進路を選択し、自己実現できる力を育成するためのキャリア教育を推進する。特に、小学校の地域や社会の学習、中学校の職場体験学習を中心として、地域・企業等と連携した体験活動等を実施し、子供が将来への夢や希望をもち、望ましい勤労観・職業観をもてるようにする必要がある。
- ・ 子供ががんに対する正しい知識と患者に対する正しい認識をもてるよう関係機関と連携し、がん教育を推進することが課題である。
- ・ 子供が認知症を正しく理解し、自分たちにできることを考える認知症サポーターを養成する取組を関係機関と連携して推進することが課題である。

(2) 安全・防災教育の推進

- ・ 子供が発達の段階に応じた危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身に付けることができるよう安全教育を推進していくことが課題である。
- ・ 東日本大震災等の教訓を踏まえ、諸教材等を生かした防災教育を推進する。また、体験的な訓練を防災計画に位置付け、子供の災害対応能力を高めるとともに、学校の危機管理能力を高めることが課題である。

(3) 図書館と連携した教育活動の推進

- ・ 学校図書館の一層の活用を図り、区立図書館と連携し、調べる学習コンクールやビブリオバトル等の読書活動を推進することで読書に親しむ子供を育て、基礎となる言語力を育成することが課題である。

4 文化・スポーツ活動の取組の推進

(1) オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・ オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念等を学習し、運動への興味・関心を高めることが課題である。
- ・ 日常的な実践での健康増進に向けた取組の充実や、地域と連携した運動・スポーツの魅力を生かす特色ある取組を通し、オリンピック・パラリンピック教育を計画的に推進することが課題である。

(2) 郷土文化に関する教育の充実

- ・ すみだ北斎美術館を活用する等、葛飾北斎を題材にした授業を実施してその活躍を知るとともに、北斎に親しませる学習を通して地域の伝統文化に対する誇りをもたせることが課題である。
- ・ 東京大空襲の教訓を踏まえ、すみだ郷土文化資料館を活用した授業や空襲体験者から話を聞く学習等を

通して平和に対する意識を高め、平和教育の充実を図る必要がある。

5 学校マネジメントの強化

(1) 学校経営の充実

- ・ 校(園)長は、様々な機会で購入者・地域に対し学校経営方針・学校経営計画を周知するとともに、学校経営への参画意識を高めることが課題である。
- ・ 学校(園)は、外部アンケートを踏まえた自己評価及び中間評価を実施し、年度末に限らず年度途中でも成果・課題を捉えた教育活動の改善を図る。また、学校運営連絡協議会において学校経営に関する意見交換を行い、学校関係者評価を効果的に実施してさらなる学校経営の改善・充実を図ることが課題である。

(2) 教員の組織的・計画的な人材育成

- ・ 教員一人一人が、自らの授業力の課題を明確にした「授業改善プラン」を作成し、校内外の研修等を通して指導技術を高める。また、職層ごとの役割を明確にした教員の育成、指導教諭の活用等、組織的な OJT 体制を確立して指導力の向上を図ることが課題である。
- ・ 校(園)内研究や校(園)内外の研修会に意欲的に参加し、自らの資質・能力を向上させようとする教員の育成を図ることが課題である。
- ・ 校(園)長は、管理職と教職員や教職員同士のコミュニケーションを円滑に図り、良好な職場環境を醸成してメンタルヘルス対策を徹底する。また、誇りと自信をもって職務遂行する教員の育成が必要である。
- ・ 服務事故防止に係る年間計画に基づき、計画的に研修を行い実践に結び付けるとともに、日常的にコンプライアンスの意識を徹底することが課題である。

(3) 体罰や暴力的な指導・不適切な指導の根絶

- ・ 外部指導員等を含めた全教職員が「体罰防止セルフチェック」を年3回実施して自己の指導を見直すとともに、研修等で、体罰や関連行為(暴言等)は子供の人権侵害であるとの認識を徹底することが課題である。

(4) 教員の人権感覚や危機管理意識の向上

- ・ 人権教育プログラム・安全教育プログラムを活用した教育計画の見直しや研修会の計画的な実施等を通して、教員の人権感覚や危機管理意識の徹底を図り、教員としての資質の向上に努めることが課題である。
- ・ 貧困に起因する問題や虐待等学校だけでは解決できない問題について、関係機関との連携を早期に進めるために、組織的な体制作りや教員の意識醸成を図ることが課題である。

平成 28 年 12 月 22 日
すみだ教育研究所

平成 28 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都教育委員会)の結果について

1 調査実施日及び調査対象等

(1) 調査実施日 平成 28 年 7 月 7 日(木)

(2) 調査実施数

	小学校第 5 学年	中学校第 2 学年
墨田区	1,491名 (25校)	1,252名 (10校)
都全体	87,598名 (1,289校)	73,281名 (626校)

(3) 調査内容

ア 学習に関する意識調査

- ・ 児童・生徒の生活や学習に関する意識や実態に関する調査

イ 学力向上を図るための調査

- ・ 学習指導要領に示す国語、社会、算数・数学、理科、英語の内容に基づいた問題
- ・ 各教科等の学習において必要となる読み解く力の育成を図る問題

2 学力向上を図るための調査結果

(1) 平均正答率(単位：%)

ア 小学校第 5 学年

	国語	社会	算数	理科
墨田区	72.7	70.3	60.2	62.4
都全体	73.8	72.4	62.5	62.7

イ 中学校第 2 学年

	国語	社会	数学	理科	英語
墨田区	70.7	57.2	56.3	54.1	53.1
都全体	71.1	57.8	56.7	55.2	55.6

(2) 習得目標値¹を達成した児童・生徒の割合

ア 小学校第 5 学年

	国語	社会	算数	理科
習得目標値	6 問 (全 20 問中)	6 問 (全 23 問中)	11 問 (全 31 問中)	6 問 (全 25 問中)
墨田区	98.8%	98.1%	86.2%	98.9%
都全体	98.5%	98.1%	88.0%	98.5%

イ 中学校第2学年

	国語	社会	数学	理科	英語
習得目標値	9問 (全25問中)	7問 (全29問中)	12問 (全29問中)	8問 (全26問中)	6問 (全26問中)
墨田区	96.0%	94.6%	74.8%	91.1%	94.4%
都全体	96.1%	95.4%	78.2%	92.4%	95.6%

1 習得目標値 ... 教科書の「例題レベルの問題」の数のこと。習得目標値に達している児童は、例題レベルの問題をおおむねクリアしていると考えられる。

(3) 到達目標値²を達成した児童・生徒の割合

ア 小学校第5学年

	国語	社会	算数	理科
到達目標値	17問 (全20問中)	18問 (全23問中)	26問 (全31問中)	19問 (全25問中)
墨田区	34.4%	47.8%	18.1%	26.7%
都全体	37.8%	52.0%	20.9%	28.7%

イ 中学校第2学年

	国語	社会	数学	理科	英語
到達目標値	19問 (全25問中)	24問 (全29問中)	24問 (全29問中)	20問 (全26問中)	20問 (全26問中)
墨田区	49.3%	14.7%	10.9%	15.0%	16.2%
都全体	49.9%	16.0%	14.6%	15.8%	20.9%

2 到達目標値 ... 教科書の「例題レベルの問題」の数と、「練習問題レベルの問題」の数の合計のこと。習得目標値に達している児童は、練習問題レベルの問題をおおむねクリアしていると考えられる。

3 結果分析

(1) 平均正答率でみると

小学校第5学年は、国語・理科は都全体とほぼ同等であり、社会・算数は都全体と比べてやや低い。中学校第2学年は、国語・社会・数学・理科は都全体とほぼ同等であり、英語は都全体と比べてやや低い。

(2) 習得目標値及び到達目標値でみると

ア 小学校第5学年

国語・社会・理科は98%以上の児童が教科書の例題レベルの問題をクリアしているが、算数は13.8%の児童が教科書の例題レベルの問題をクリアしていない。

算数は教科書の練習問題レベルの問題をクリアしている児童が18.1%にとどまっている。

イ 中学校第2学年

国語・社会・理科・英語は90%以上の生徒が教科書の例題レベルの問題をクリアしているが、数学は25.2%の生徒が教科書の例題レベルの問題をクリアしていない。

数学は教科書の練習問題レベルの問題をクリアしている生徒が10.9%にとどまっている。

4 教科書の練習問題レベルの問題ができるにするための手立ての例

算数・数学については、教科書の例題レベルの問題をクリアしている児童・生徒は多いが、教科書の練習問題レベルの問題をクリアしている児童・生徒が少ないことから、例題レベルの問題と練習問題レベルの問題の「橋渡し」をどのようにすればよいのかを考えて指導することが大切であるといえる。以下に、小学校第5学年算数「分数のわり算」における、例題から練習問題への「橋渡し」の例を示す。

小学校第5学年算数「分数のわり算」

教科書の例題（示されている図やきまりを使って解く問題）

2 dL で板を $\frac{3}{5} \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。
このペンキ 1 dL では、何 m^2 ぬれますか。

線分図

わり算のきまり

$$\frac{3}{5} \div 2$$

$$= \left(\frac{3}{5} \times 5\right) \div (2 \times 5)$$

図

↓

教科書の練習問題

はちみつを $\frac{3}{7} \text{ L}$ 用意し、それを4つのカップに等分して入れました。
1つのカップにはいったはちみつは何 L ですか。

このような図やきまりが示されていない問題が解けるようにするには、授業において様々な考え方を比べさせ、考えのよさを実感させることで、自力で考えられるようにする。

5 今後の取組

- (1) 「墨田区学習状況調査」における課題であるD・E層の減少に向けて、本調査の分析結果を、教科書の練習問題レベルの問題ができるようにするための手立てとして各学校へ情報提供する。
- (2) 特に、小学校の算数及び中学校の数学・英語は、習熟度別指導の徹底を更に図る。習熟の遅い児童・生徒に対しては、基礎的・基本的な内容を確実に習得させ、習熟の早い児童・生徒に対しては発展的な内容を扱い、さらに伸ばす指導を充実するよう、学校への指導・助言を行う。

【問合せ先】

墨田区教育委員会事務局すみだ教育研究所
電話 (03) 5608-6621

教育課題の進捗状況について（平成28年12月報告分）

課題名	進捗状況	主管課
学校ICT化の推進	<p>【計画】（庶務課）電子黒板の設置拡充 導入校本稼働開始 ICT巡回員による導入時サポート 設置校による授業公開</p> <p>【実績】（庶務課）電子黒板の設置拡充 導入校（小19校）本稼働開始 ICT巡回員による導入時サポート（5校） 各校：午前中、5日間サポート 設置校によるICT授業公開（2校）</p> <p>【進捗状況】<input checked="" type="checkbox"/>順調・<input type="checkbox"/>遅延・他（<input type="checkbox"/>）</p>	庶務課 指導室 すみだ教育 研究所
すみだ教育指針の策定	<p>【計画】 すみだ教育指針素案を議会報告</p> <p>【実績】 すみだ教育指針素案を教育委員会報告(11/24)、区民 文教委員会(12/1)報告の準備</p> <p>【進捗状況】<input checked="" type="checkbox"/>順調・<input type="checkbox"/>遅延・他（<input type="checkbox"/>）</p>	すみだ教育 研究所
学力向上新3か 年計画の実施	<p>【計画】 区学習状況調査の指導のポイントを具体化した公開 授業の実施</p> <p>【実績】 公開授業を小学校4教科・中学校5教科で実施 (10/12～11/30)</p> <p>【進捗状況】<input checked="" type="checkbox"/>順調・<input type="checkbox"/>遅延・他（<input type="checkbox"/>）</p>	すみだ教育 研究所
幼保小中一貫教 育の推進	<p>【計画】 一貫教育巡回指導員による助言・支援 幼保小中一貫連絡協議会 小学校すたーとブック次年度分準備</p> <p>【実績】 一貫教育巡回指導員による助言・支援 幼保小中一貫連絡協議会(11/2) 小学校すたーとブック内容検討</p> <p>【進捗状況】<input checked="" type="checkbox"/>順調・<input type="checkbox"/>遅延・他（<input type="checkbox"/>）</p>	すみだ教育 研究所

課題名	進捗状況	主管課
(仮称)総合運動場等整備事業	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本・実施設計定例会 都市計画変更等パブリックコメント 旧鐘淵中学校解体工事に係る地元町会説明 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本・実施設計委託業者との定例会（営繕課） 都市計画変更等パブリックコメント実施（都市計画課） 旧鐘淵中学校解体工事に係る地元町会への説明 <p>【進捗状況】<input checked="" type="checkbox"/>順調・<input type="checkbox"/>遅延・他（<input type="checkbox"/>）</p>	スポーツ振興課